



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年8月12日 東

上場会社名 株式会社大運 上場取引所  
 コード番号 9363 URL <http://www.daiunex.co.jp>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 高橋 健一  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 吉野 弘一 (TEL) 06-6532-4101  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ( )

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,646	6.1	4	△76.9	25	△3.6	23	△3.4
26年3月期第1四半期	1,551	△1.9	18	543.2	26	172.3	24	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年3月期第1四半期	0.39		—					
26年3月期第1四半期	0.40		—					

四半期経営成績に関する注記

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	5,882	2,052	34.9
26年3月期	5,714	2,009	35.2

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 2,052百万円 26年3月期 2,009百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—				
27年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,300	0.4	75	2.7	80	0.0	60	△9.0	0.96
通期	6,500	1.0	120	2.6	130	0.8	100	△42.5	1.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年3月期1Q	62,280,394株	26年3月期	62,280,394株
27年3月期1Q	102,989株	26年3月期	101,829株
27年3月期1Q	62,178,165株	26年3月期1Q	62,182,886株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

●この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算書の開示時点において、四半期財務諸表に関するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ(3)「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(平成26年4月1日～平成26年6月30日)におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による弱含みの動きが見られましたが、雇用情勢が改善し、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、原料・原油価格の上昇等から、先行き不透明感も残る状況が続いております。

当業界におきましては、規制緩和と荷主メーカーの大幅な物流コスト見直しにより低価格化競争が続き、引き続き厳しい環境にあります。

このような状況の中、当社におきましては、新規取引をはじめ受注の拡大に取り組んでまいりました。

リーマンショック以降、経費削減策として実行してきた従業員の給与・賃金カットの一部を戻したこと等による経費増加から損益分岐点が上がり、営業利益が減少しております。受取家賃の増加等により、営業外損益は増加しております。

この結果、当第1四半期累計期間における営業収入は、1,646,834千円で、前年同四半期累計期間と比べ、94,901千円(6.1%)の増収となりました。しかしながら、営業利益は4,346千円で、前年同四半期累計期間と比べ、14,442千円(76.9%)の減益、経常利益は25,683千円で、前年同四半期累計期間と比べ、970千円(3.6%)の減益となりました。また、四半期純利益は23,956千円となり、前年同四半期累計期間と比べ、854千円(3.4%)の減益となりました。

各セグメントの業績の状況は次の通りであります。

## ①港湾運送事業

当社の主要セグメントである当セグメントにおきましては、円安継続の影響により、輸出関連の収入は堅調に推移したものの、輸入関連の収入は厳しいものでありました。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は、1,587,023千円で、前年同四半期累計期間と比べ、109,473千円(7.4%)の増収となり、全セグメントの96.4%を占めております。

しかしながら、経費増加等の影響で、セグメント利益(営業利益)は、96,941千円で、前年同四半期累計期間と比べ、23,097千円(19.2%)の減益となりました。

## ②自動車運送事業

当セグメントにおきましては、引き続き厳しい状況が続きました。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は、57,596千円で、前年同四半期累計期間と比べ、14,301千円(19.9%)の減収となり、全セグメントの3.5%を占めております。

セグメント損失(営業損失)は、△10,398千円で、前年同四半期累計期間と比べ、2,333千円(前年同四半期累計期間は△8,064千円)の減益となりました。

## ③その他

当セグメントにおきましては、前年同四半期累計期間と比べ、輸入関連の荷動きが減少したことにより、海上保険収入が伸び悩みました。

この結果、営業収入は、2,214千円で、前年同四半期累計期間と比べ、270千円(10.9%)の減収となり、全セグメントの0.1%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は、2,184千円で、前年同四半期累計期間と比べ、268千円(11.0%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末より155,694千円増加して3,545,784千円となりました。これは現金及び預金の増加138,859千円、立替金の増加43,716千円、営業未収入金の減少51,409千円等によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末より13,250千円増加して2,323,767千円となりました。これは投資有価証券の増加22,286千円、のれんの減少6,982千円等によるものであります。

(繰延資産)

当第1四半期会計期間末における繰延資産は、前事業年度末より776千円減少して13,261千円となりました。これは社債発行費の減少776千円によるものであります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末より69,307千円増加して2,205,116千円となりました。これは未払金の増加46,923千円、1年内返済予定の長期借入金の増加31,451千円、短期借入金の増加22,400千円、賞与引当金の減少27,333千円等によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債は、前事業年度末より55,678千円増加して1,624,775千円となりました。これは長期借入金の増加71,088千円、社債の減少17,750千円等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末より43,183千円増加して2,052,922千円となりました。これは繰越利益剰余金の増加23,956千円、その他有価証券評価差額金の増加19,279千円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお業績予想につきましては、不確定要因が大きく、平成26年5月13日の「平成26年3月期決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期累計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,169,021	2,307,880
受取手形	5,155	1,770
営業未収入金	785,641	734,231
立替金	399,580	443,297
その他	36,912	63,710
貸倒引当金	△6,220	△5,105
流動資産合計	3,390,089	3,545,784
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	185,919	183,227
構築物(純額)	3,815	3,714
機械及び装置(純額)	14,325	13,424
車両運搬具(純額)	42,627	47,374
工具、器具及び備品(純額)	10,806	10,117
土地	576,183	576,183
リース資産(純額)	31,353	29,027
有形固定資産合計	865,031	863,070
無形固定資産		
のれん	363,103	356,120
その他	98,394	92,461
無形固定資産合計	461,498	448,582
投資その他の資産		
投資有価証券	728,911	751,198
差入保証金	94,934	94,833
その他	409,203	410,504
貸倒引当金	△249,062	△244,422
投資その他の資産合計	983,986	1,012,114
固定資産合計	2,310,516	2,323,767
繰延資産		
社債発行費	14,037	13,261
繰延資産合計	14,037	13,261
資産合計	5,714,644	5,882,813

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	39,886	39,476
営業未払金	521,269	516,874
短期借入金	705,800	728,200
1年内償還予定の社債	147,600	147,600
1年内返済予定の長期借入金	541,168	572,619
未払金	52,215	99,138
未払法人税等	27,279	7,828
賞与引当金	36,733	9,400
その他	63,856	83,980
流動負債合計	2,135,809	2,205,116
固定負債		
社債	488,600	470,850
長期借入金	802,752	873,840
退職給付引当金	195,385	203,799
その他	82,359	76,286
固定負債合計	1,569,096	1,624,775
負債合計	3,704,905	3,829,891
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,394,398	2,394,398
資本剰余金		
資本準備金	314,304	314,304
その他資本剰余金	433,446	433,446
資本剰余金合計	747,751	747,751
利益剰余金		
利益準備金	5,856	5,856
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△978,272	△954,315
利益剰余金合計	△972,416	△948,459
自己株式	△10,575	△10,627
株主資本合計	2,159,158	2,183,062
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△149,419	△130,140
評価・換算差額等合計	△149,419	△130,140
純資産合計	2,009,738	2,052,922
負債純資産合計	5,714,644	5,882,813



## (2) 四半期損益計算書

## 第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
営業収入	1,551,932	1,646,834
営業原価	1,437,472	1,558,076
営業総利益	114,460	88,757
販売費及び一般管理費	95,671	84,411
営業利益	18,788	4,346
営業外収益		
受取利息	32	29
受取配当金	11,075	12,054
雑収入	10,312	25,572
営業外収益合計	21,420	37,656
営業外費用		
支払利息	11,609	12,661
社債発行費償却	554	776
雑損失	1,391	2,881
営業外費用合計	13,555	16,319
経常利益	26,653	25,683
特別利益		
固定資産売却益	13	2,259
投資有価証券売却益	1,376	—
特別利益合計	1,389	2,259
税引前四半期純利益	28,043	27,943
法人税、住民税及び事業税	3,232	3,987
法人税等合計	3,232	3,987
四半期純利益	24,811	23,956

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。